

試験ブループリントガイド

# Nutanix 認定アソシエイト (NCA) 6.10 試験



# 目次

作成者	3
寄稿者	3
<b>1. 試験</b>	<b>4</b>
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジューリングおよび受験	5
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	5
<b>2. 対象者</b>	<b>6</b>
<b>3. NCA 6.10 試験で対象となる目標</b>	<b>7</b>
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション 1 - ライフサイクル管理について説明する	7
セクション 2 - Nutanix の基本的な管理について説明する	8
セクション 3 - Nutanix クラスタ環境の健全性を維持する	10
セクション 4 - クラスタ設定オプションについて説明する	11
<b>4. NCA 6.10 トレーニングの推奨事項</b>	<b>13</b>
4.1 コースの推奨事項	13
<b>5. リソース</b>	<b>14</b>
5.1 Nutanix Community Edition	14
5.2 テストドライブ	14
5.3 Nutanix Community	14

## 作成者

Jeff Hall 技術認定開発担当マネージャー

## 寄稿者

Alfredo Flores シニアインフラストラクチャーエンジニア

Alpesh Lakum プリセールスおよびデプロイメント担当シニアマネージャー

Bhavin Mehta コンピュートおよびハイパーコンバージドインフラストラクチャーサービス責任者

Brian Jaschke FR ソリューションコンサルタント

Chris McMahon アドバイザリーポートフォリオアーキテクト - NCM

Chris Nelson アドバイザリーポートフォリオアーキテクト - NCM

Daniel Sullivan フィールドエンジニア

Eric Stapleton シニアスタッフレジデントコンサルタント

Frederic Lhoest テクノロジーアーキテクト

Gary Foster カスタマーサクセスエンジニア

Hugo Sanchez システムセールスエンジニア

Ignacio Romero データセンター管理者

Jim Corder Enterprises International 創業者

Josue Gutierrez GQC Extreme 最高技術責任者 (CTO)

John Hamilton システム管理者

John Burton プリンシパルシステム信頼性エンジニア

Joseph Blake スタッフレジデントアーキテクト

Kenneth Fingerlos グローバルプラクティス - サービス担当ディレクター

Kim Mount テクニカルディレクター

Kyle Naidoo システムエンジニア

Leandro Leonhardt スタッフレジデントアーキテクト

Leimar Braz シニアシステムエンジニア

Lev Goronshtein アドバイザリーシステムエンジニア

Lochan Serma スタッフコンサルティングアーキテクト

Maroane Boutayeb グローバルユニットリード - Nutanix on OVHcloud

Mateja Tomasevic シニア仮想化エンジニア

Matthew Gauch シニアスタッフエスカレーションエンジニア

Matthew Porter テクニカルサービスコンサルタント

Michael Bates シニアシステムエンジニア

Nic Pearce シニアテクニカルアカウントマネージャー

Nicolas Hoareau シニアシステムエンジニア

Pankaj Kumar システムエンジニア

Paul Monroe スタッフェスカレーションエンジニア

Rickard Wendel シニアシステムエンジニア

Robert Johnson プリンシパルクライアントソリューションアーキテクト

Ross Hunt スタッフレジデントアーキテクト

Samuele Cerutti アドバイザリーシステムエンジニア

Sean Nally シニアシステムエンジニア

Tod Holsenbeck シニアスタッフエンタープライズアーキテクト兼プラクティスリード

Tyler Pope スタッフェスカレーションエンジニア

Vlad Glemb スタッフコンサルティングアーキテクト

## 免責条項:

Nutanix 認定アソシエイト(NCA)6.10 試験ブループリントガイドでは、NCA 6 認定資格を取得するため習得する必要がある目標について概要を説明します。本ガイドは、Nutanix が受験者の NCA 6 認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanix の単独の裁量により、隨時変更される可能性があります。

# 1. 試験

## 1.1 試験の目的

Nutanix 認定アソシエイト(NCA)6.10 試験は、Prism UI を使いこなし、UI からの情報を推測し、UI を使用して基本的な運用タスクをどのように行うかを把握するスキルと能力について受験者をテストします。合格者は、これらのスキルと能力を習得していることを証明できます。

## 1.2 問題数

NCA 6.10 試験は、50 問の選択問題(単一回答、複数回答)で構成されています。

## 1.3 受験料

NCA 6.10 試験の受験料は、99 米ドルです。

## 1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは 3000 です。スケールドスコア方式(換算方式の採点法)が用いられます。スコアのスケールは 1000~6000 です。スケールドスコア(換算スコア)は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア(換算スコア)で全員に公平なスコアを提示します。

## 1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Prism UI を使いこなす、UI から情報を推測する、UI を使用して基本的な運用タスクをどのように行うかを把握するといった業務に関わる所定のタスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

## 1.6 言語

試験は英語および日本語で受験できます。

## 1.7 制限時間

試験の制限時間は 90 分です。

## 1.8 試験のスケジューリングおよび受験

NCA 6.10 試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効な ID を持参し、試験開始時間の 15 分前までにテストセンターにお越しください。

## 1.9 認定トラック

NCA 6.10 試験は Nutanix アソシエイトトラックのコアコンポーネントです。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanix は、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。コースとトラックの詳細は、[セクション 4](#) をご覧ください。

## 1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2 回再受験できます。再受験まで 7 日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注: 3 回受験すると、60 日間受験できなくなります。その後、[university@nutanix.com](mailto:university@nutanix.com) 宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推薦されるトレーニングを受講することをお勧めします。

## 1.11 試験のセキュリティ

Nutanix は、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

## 1.12 再認定

Nutanix 認定アソシエイト(NCA)6.10 試験に合格し、NCA 6 認定資格を取得すると、資格は 2 年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、NCP レベルの試験に合格する、または NCM-MCI 試験に合格する必要があります。

## 1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能な Credly のデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能な Nutanix ストア (<http://store.nutanix.com>) の Certification ショップへのアクセス
- 将来の試験の開発に SME として参加する機会
- Nutanix .NEXT の参加割引

## 2. 対象者

NCA 6 認定資格は、IT インフラストラクチャー全般の経験が約 6~12 カ月、Nutanix の仮想化の経験が 3~6 カ月ある方を受験対象者として想定しています。

システム管理者、ジュニアエンジニア、または IT オペレーターなどが一般的な合格者です。Prism UI 内のコンポーネントを操作、識別する、仮想マシン(VM)とクラスタのライフサイクル管理タスクを実行する、パフォーマンス、イベント、およびアラートを監視し、報告するといった技能が必要です。Nutanix ハイブリッドクラウド基礎(NHCF)コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

# 3. NCA 6.10 試験で対象となる目標

## 3.1 はじめに

受験者は、NCA 6.10 試験を受ける前に、Prism UI 内のコンポーネントを操作、識別し、VM とクラスタのライフサイクル管理タスクを実行し、パフォーマンス、イベント、およびアラートを監視、報告するために必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。

NCA 6 認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- AOS: バージョン 6.10
- Prism Central: バージョン pc2024.2

## 3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション 1 - ライフサイクル管理について説明する

目標 1.1 - ライフサイクルマネージャー (LCM) について説明する

知識:

- どのアップデートが必要かを判断する
- アラートがないことを確認する
- LCM インベントリプロセスについて説明する
- Prism Central と Prism Element の LCM を区別する
- LCM のアップグレード順序のベストプラクティスを判断する

参考資料

- ライフサイクルマネージャーの概要
- ライフサイクルマネージャーでインベントリを実行する
- 接続されたサイトの設定を指定する
- ダークサイトメソッドの推奨アップグレード順序
- フームウェアとソフトウェア LCM バンドルをウェブサーバーに配置する

## 目標 1.2: LCM ソフトウェアとファームウェアのアップグレードをモニタリングする

### 知識

- ノードをメンテナンスモードにすることの影響について説明する
- 基本的な VM のアフィニティルールを使用するタイミングについて説明する
- ベーシックなアップグレード可能コンポーネントを見分ける

### 参考資料

- ソフトウェアとファームウェアのアップグレード
- 接続されたサイトの設定におけるファームウェアとソフトウェアのアップデート管理
- ソフトウェアとファームウェアのアップデートのための LCM 環境設定
- ファームウェアのアップグレードに関する推奨事項と制限
- タスクステータスダッシュボードを使用してアップグレードを確認する

## セクション 2 - Nutanix の基本的な管理について説明する

### 目標 2.1: 基本的な VM のタスクを実行する方法について説明する

### 知識

- VM スナップショットを実行する方法について説明する
- 異なるホストへの VM マイグレーションを実行する方法について説明する
- VM リソースの使用状況をモニタリングする方法について簡潔に説明する
- VM リソースの設定を確認する方法を比較する
- 基本的なアフィニティポリシーについて説明する

### 参考資料

- VM を作成する(AHV)
- VM スナップショットを手動で削除する
- クラスタ内で移行する
- VM を管理する(AHV)
- Prism Element で定義されたアフィニティポリシー
- VM テンプレートを作成する
- イメージのサマリービュー

## 目標 2.2: クラスタレベルの設定を識別する

### 知識

- セキュリティ設定の実装について説明する
- クラスタ内のネットワーク設定をリスト化する
- ユーザーとロールを定義する
- アラートと通知をリコールする

### 参考資料

- 保存データの暗号化
- 二重暗号化を設定する
- クラスタ時刻同期
- ネットワークスイッチの設定を構成する
- クラスタアクセスを制御する
- ユーザーアクセスを制御する(RBAC)
- 管理者セッションのタイムアウトを設定する
- ストレージコンテナを作成する
- ごみ箱
- アラートとイベントの監視

## 目標 2.3: クラスタのライセンスレベルを決定する

### 知識

- クラスタがライセンスを受けているかどうかを確認する
- クラスタがどのレベルのライセンスを使用しているかを確認する
- サポートポータルによるクラスタのライセンスプロセスについて説明する

### 参考資料

- Nutanix クラウドプラットフォームパッケージのライセンス
- タグを使用してライセンスを整理する
- ライセンスの機能と詳細を表示する
- Nutanix クラウドプラットフォームのソフトウェアオプション

## セクション 3 - Nutanix クラスタ環境の健全性を維持する

### 目標 3.1: 健全性チェックを実行し、解釈する

#### 知識

- レジリエンシー(耐障害性)の状態について説明する
- ログ収集を実行する
- NCC チェックを実行する
- クラスタの状態を判断する
- メトリックチャートとエンティティチャートの違いを説明する
- アラートの深刻度を見分ける

#### 参考資料

- Prism Element Web コンソールを使用してチェックを実行する
- Prism Element のメインメニュー
- NCC を実行する(Prism Element)
- Prism Element Web コンソールを使用してログを収集する
- Prism Element のホームダッシュボード
- Prism Element で NCC を実行する

### 目標 3.2: アラート、イベント、ポリシーを管理する

#### 知識

- Pulse のステータスを確認する
- Pulse のメリットについて説明する
- カスタムアラートポリシーのユースケースを決定する

#### 参考資料

- ゲスト VM のアラートとイベント
- ユーザー定義(カスタム)アラートポリシー
- 重複ポリシー
- Pulse 健全性モニタリング

### 目標 3.3: サポートチケットを作成する

#### 知識

- サポートケースを作成する方法について説明する
- サポートケースに必要なドキュメントを特定する
- さまざまなドキュメントタイプを特定する

#### 参考資料

- ケースを作成する
- Nutanix の製品サポートプログラム
- Nutanix のサポートポリシーおよび FAQ

### セクション 4 - クラスタ設定オプションについて説明する

#### 目標 4.1: 冗長度／レプリケーション・ファクタを決定し、説明する

#### 知識

- クラスタ上にメタデータとデータのコピーがどのくらいあるかを見極める
- 障害ドメインを識別する
- コンテナのオプション(RF1、RF2、RF3など)を認識する
- クラスタサイズについて説明する

#### 参考資料

- ストレージ管理
- 冗長度 3
- レプリケーション・ファクタ 1 の概要
- イレージャコーディング

#### 目標 4.2: ストレージコンポーネントを識別する

#### 知識

- ストレージオプションをリコールする
- さまざまなディスクタイプを識別する

## 参考資料

- AHVにおけるAcropolis Dynamic Scheduling
- Nutanixコアパフォーマンス
- ストレージプールを変更する
- キャパシティ予約のベストプラクティス

## 目標 4.3:ストレージの最適化を判断する

### 知識

- 圧縮、重複排除、イレージャコーディングを使用するタイミングを判断する
- データローカリティを定義する
- ストレージの階層化について説明する

## 参考資料

- イレージャコーディングのベストプラクティスと要件
- 重複排除
- 圧縮
- 冗長度 3
- レプリケーション・ファクタ 1 の概要
- ストレージコンポーネント

# 4. NCA 6.10 トレーニングの推奨事項

## 4.1 コースの推奨事項

Nutanix は、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施するコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、[nutanix.com/training](https://nutanix.com/training) をご覧ください。

コースの詳細は以下のとおりです。

Nutanix ハイブリッドクラウド基礎(NHCF)のトレーニングコースは、Nutanix の初心者、および Nutanix のスケールアウトストレージ技術である AOS ストレージ、Nutanix のマルチクラウド管理インターフェースである Prism の機能に重点を置いた入門編の希望者を対象としています。

NHCF のコースでは、幅広く奥深い Nutanix の一元管理機能について詳しく学びます。この入門コースは、Nutanix のプラットフォームをできるだけ早く学び、使用できるようになることに重点を置いています。最初に、Nutanix の主要な製品とクラスタ関連のコンセプトについて説明されます。

Prism Central と Prism Element の統合制御プレーンを使用し、クラスタの健全性とパフォーマンスをモニタリングする、ソフトウェアバージョンを管理する、VM を作成し、管理する、ハードウェア、ストレージ、ネットワークの基本的な管理タスクを実行するといった方法を学習します。

本コースで提供される資料は、NCA 6.10 試験で出題される目標の大半を網羅しています。目標をしっかりと理解したい方にお勧めです。Nutanix の環境に十分に触れておくことも強く推奨されています。

本コースは、ライブ試験が開始される前に、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニング(対面またはオンライン)を受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、[www.nutanix.com/university](https://www.nutanix.com/university) でご覧ください。

# 5. リソース

## 5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Edition は、Nutanix クラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

## 5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Edition を活用するハイパーコンバージドテストドライブを 2 時間使用することもできます。

## 5.3 Nutanix Community

Nutanix Community で世界中のクラウドビルダーとつながり、業界の IT プロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Community に、Nutanix 認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。